

製品名: ベータカテニンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe86528

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.09mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:500-1:2000
分子量	Calculated MW:86 kDa; Observed MW:86 kDa

抗原情報

遺伝子名	beta Catenin
別名	EVR7; CTNNB; MRD19; NEDSDV; armadillo
遺伝子 ID	1499, 12387, 84353
SwissProt ID	P35222, Q02248, Q9WU82
免疫原	ヒトβカテニンの合成ペプチド

背景

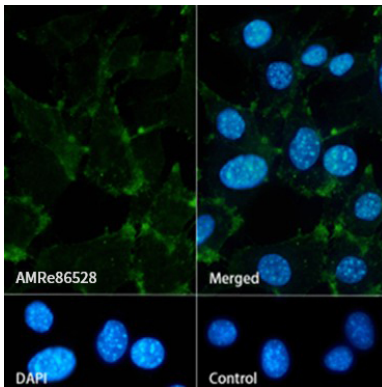
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、接着結合（AJ）を構成するタンパク質複合体の一部です。AJは、細胞の成長と細胞

間の接着を調節することで、上皮細胞層の形成と維持に不可欠です。また、このタンパク質はアクチン細胞骨格を固定し、上皮シートが完成した時点で細胞分裂を停止させる接触阻害シグナルの伝達を担っていると考えられます。最終的に、このタンパク質は、大腸腺腫性ポリポースで変異する APC 遺伝子産物に結合します。この遺伝子の変異は、大腸がん (CRC)、毛様上皮腫 (PTR)、髄芽腫 (MDB)、および卵巣がんの原因となります。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じます。
[RefSeq 提供、2016年8月]

研究分野

-

画像データ



ベータカテニンウサギモノクローナル抗体を使用してベータカテニンを標識した NIH/3T3 細胞の免疫蛍光分析。